科目名	看護倫理	分野・必選別・単位数	共通科目	必修	2単位

担当教員	◎准教授　冲永隆子（学修・研究支援センター）						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義

授業の概要	医療現場や専門分野における倫理的な問題や葛藤について関係者間での倫理的調整を行うための基礎となる倫理に関する諸理論、倫理原則・倫理綱領について教授する。
授業の到達目標	医療現場や専門分野での倫理的課題に直面するにあたり、倫理原則に則った推論を経て結論を出すことを目標とする。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	冲永　隆子　准教授	医療倫理学・看護倫理学の確立背景 医療倫理学・看護倫理学の概念史を概説できる。現状と課題について説明できる。
2	冲永　隆子　准教授	医療倫理学・看護倫理学の確立背景 看護研究と臨床研究の倫理について概説できる。現状と課題の理解について説明できる。
3	冲永　隆子　准教授	患者の権利と医師の善行・不加害原則 エホバの証人輸血拒否問題。善行の原則、IC、自己決定権、QOL、SOL等を説明できる。
4	冲永　隆子　准教授	患者の権利と自律尊重、治療選択権 「4分割法」で「ビデオ：花のプレゼント」（エホバの証人輸血拒否問題）の検討・評価できる。
5	冲永　隆子　准教授	終末期医療：緩和ケア、延命措置の問題について説明できる。国内外の現状と課題について説明できる。
6	冲永　隆子　准教授	終末期医療：尊厳死・安楽死問題について説明できる。国内外の現状と課題について説明できる。
7	冲永　隆子　准教授	事前医療指示（リビング・ウイル、アドバンス・ディレクティブ）、アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について説明できる。国内外の現状と課題について説明できる。
8	冲永　隆子　准教授	エンドオブライフケア 「4分割法」で「ビデオ：老人の友」（高齢者の延命措置、尊厳死問題）を検討・評価できる。
9	冲永　隆子　准教授	脳死・臓器移植：日本と海外の現状比較、 脳死・臓器移植の問題点を整理し説明できる。
10	冲永　隆子　准教授	終末期医療に関するプレゼンテーション（発表）を通して様々な問題を説明できる。
11	冲永　隆子　准教授	生殖医療：選択的人工妊娠中絶、出生前診断、着床前診断、生命の選別の問題について説明できる。
12	冲永　隆子　准教授	生殖医療：生殖補助医療（不妊治療）、人工授精、体外受精-胚移植、代理懐胎の問題について説明できる。
13	冲永　隆子　准教授	再生医療：中絶胎児EG細胞、胚性幹ES細胞、人工多能性幹iPS細胞の臨床応用の問題について説明できる。
14	冲永　隆子　准教授	iPS細胞のパーキンソン病患者への臨床応用、中国のゲノム編集双子女児誕生の問題について説明できる。
15	冲永　隆子　准教授	まとめ 倫理的ジレンマに直面するさいの倫理的判断、価値基準とは何か説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	『看護学生の医療倫理』（丸善出版、2012）
参考書	塚田敬義・前田和彦編『改訂生命倫理・医事法』（医療科学社、2018）※こちらで用意しますので、購入の必要はありません。
成績評価の方法および基準	最終授業後提出のレポート50％、授業内発表50％で評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。